



五十沢小学校だより

いのち かがやく

No. 1 1

令和8年2月26日



【子どもの笑顔】を支える【保護者、地域の笑顔】と【教職員の笑顔】

成長するとは、『変わっていくこと』



私は、子どもたちに全校朝会や学校だよりを通して「自分を伸ばすこと」や「成長させること」そのために必要なことについて伝えてきました。実際に、どの学年の子どもたちも力強く成長しています。



先日、リコーダーグループ「グループ AB」の栗田さんからお手紙をいただき、「これまで受け取った手紙と違い、その子がどう感じたか、何が楽しかったかがわかり、五十沢小学校の取組で書く力がついていて感じた」という内容が書かれていました。「ふり返し」として授業や学習の後に文章を書くことをがんばってきた成果だと嬉しくなりました。五十沢の子どもたちは、確実に成長しています。

「成長」というと、できることが増えたり、背が伸びたり、前より上手になったり…そんな“高まること”を思い浮かべます。でも、成長はそれだけではありません。成長とは、“変わっていくこと”そのものだと思います。それは、選択や何かを手放す場合もあります。

五十沢小学校では、地域の自然や文化、産業、人とのふれあいを通して、ふるさとを知り、愛する心を育てる学びを大切にしています。長年にわたり、地域と子どもたちをつないできた鼓笛の活動も、その一つでした。地域の皆さまにとっても、子どもたちの演奏は大切な思い出であり、誇りでもあったと思います。



平成 23 年

しかし、教育の変化や指導者の確保、そして今後の学校規模の変化(現在の見通し 令和8年度の入学者数は12人、9年度は24人、以降、10人台)を見据え、令和8年度をもって鼓笛の活動を終了しようと考えています。このことは、子どもたちの心身や今後の学校の在り方を見つめ直す中で、慎重に検討を重ねてきたものです。



平成 24 年 地区運動会

2月27日の学校説明会やPTA総会を経て、保護者にご理解いただいた上で、子どもたちに精一杯の場を用意し、鼓笛の歴史を閉じる方向に進めます。その際は、地域の方にもお声がけしたいと考えています。

学校説明会でお伝えし、ご意見をいただく際の以下の資料を、昨日、保護者向けに配付しました。

令和8年度の教育活動に向けての検討事項

- (1) 持久走記録会やクロスカントリースキー行事とすることによる時数の増加
- (2) PTAプール開放
子どもの夏休みの豊かな生活の確保
熱中症対策・監視員の限界
- (3) 鼓笛
地域とつながるための活動に多様化を
教科学習外の活動
指導者確保の困難さ

このことは大変辛い選択です。しかし、これを新たな形で地域とつながる道を模索するための選択や一歩であり、「五十沢小学校の成長の過程」ととらえようと考えました。

もちろん、これまで鼓笛を支えてくださった地域の皆さまの想いを、私たちは強く感じ、悩み、苦渋の選択です。だからこそ、鼓笛に代わる新たな形で、地域と子どもたちがつながる機会をつくっていきたいと考えています。すでに「五十沢の未来を語る会」では、地域の皆さまと共に、これからの子どもたちの学びや体験について語り合い、行動を始めています。

(3) 鼓笛

児童の身体・心の安全を守るため、ユニフォームは廃止
→ 校長判断で決定

- ① 地域とつながるための活動に多様化を。
これまでの伝統を大切にしたい気持ち。
地域の皆さんのよき思い出。
→ 鼓笛だけではない、地域の良さを知る活動、地域とつながる活動を充実させたい。
- ① 行事とすることによる時数の増加
文部科学省及び県・市より、R8.2.12 授業時数の余剰を少なくするよう指示。(現在6年生1114時間→1085時間以下を目指す)
- ② 教科学習外の活動であり、(1)の授業時数と同様音楽の指導内容を超えたもの、超えた時数である。
→ 音楽科として行う内容をおろそかにしてしまう。
良い点としては、演奏技術が高いこと、楽譜を読む力がつく児童が多いこと。(感覚的ではあるが)
- ③ 指導者確保の困難さ
令和8年度は、職員2名減。入学児童12名。
現在の外部指導者の継続が厳しい。

ユニフォームの廃止は、性に関わる安全の確保のための校長判断です。



令和7年 移杖式

鼓笛は、西五十沢小学校、旧五十沢小学校から続き、長年にわたって地域の皆さまと子どもたちをつないできた、かけがえのない伝統です。運動会や地域行事での演奏は、ご自身も演奏したという多くの方々の心に残る大切な思い出であり、子どもたちにとっても誇りある経験でした。その歴史を閉じることに、無念の気持ちがあります。

しかし、伝統を手放すのではなく、未来へとつなぐために形を変える。これが「五十沢小学校の成長」ととらえて、前を向いて、これからも地域と共に歩んでまいります。

地域とつながる形～一緒に子どもを育てるボランティア～



今年度も地域とつながる活動を行うことができました。各学年の総合的な学習の時間や生活科の学習のほかに、休み時間や環境を整える花植えやお世話、朝15分程度の学習時間の丸付け、昼休みにかけ算九九を唱えるお相手、昔遊びやスキー授業です。短い時間でも、おいでいただけること、気軽に子どもと接して下さること、教職員では行き届かないことが本当にありがたいです。そしてそれは、子どもたちが、「自分を支えてくれる人は周りにたくさんいるのだ」と安心できることとなります。次年度は、さらにこうした活動を進めていきます。

「新潟県小学生クロスカントリースキー大会」に、当校から6年生男子2名が出場しました。参加方法が変わる中、自分の限界に挑戦したことは大変素晴らしく誇らしいことです。拍手を贈ります。